

商 況

製鐵所販賣旬報 第 66 號 昭和 3 年 8 月 11 日

我國に於ける鋼材需給統計の現状 鋼材統計中需給統計は最も緊要なる地位を占む。然るに該統計整備の點に於ては需給の相當大規模に行はれし近年も小規模に行はれし昔も等しく變らざる dark age なりしは何人も認むる所なり。其の基礎は僅かに内容の包括的なる關稅統計及鑛山局統計のみ存し、或は斷片的資料、實務上の經驗等を以て貴重なる材料となす憐れむべき状態なりき、爲に生産者は工場設備或は作業方針を闇中に摸索し、市場に需給統制なく、關係者は何れも不測の損害の下に暴露され、我國に鐵鋼業の存立を疑はしめし所以の一禍根はこゝに包藏せられ、識者をして需給統計整備を叫ばしめしこと一再にして止まらず、最近に至り此の弊を匡救すべく需給統計整備に漸く見るべきものあり。

一、供給統計

(一) 輸入統計。従前輸入統計は包括的内容を有し實務上の要望と相去ること遠き關稅統計のみに依頼せしが、大正 11、2 年頃本所員の神戸港派遣によりて品種寸法別の調査に着手し、大正 15 年 8 月主要輸入港たる神戸、大阪、横濱の 3 港に本所員を駐在せしむるに及んで輸入調査の基礎を確立し、漸次内容を充實せしめて今や完璧の域に近く本所は販賣旬報、年報等により、或は鐵鋼協議會をして之が明細表を公表するとともに關稅統計をも併せて定期に發表して關係者の利用を期せり。

(二) 本所生産統計、隨時販賣旬報其他の方法によりて生産明細統計を公表する外、定期には販賣年報により或は條鋼分野協定會並に鐵鋼協議會によりて發表せらる。

(三) 民間生産統計、民間製鐵業の隆昌に伴ひ、民間生産統計の樞要なる地位を有するに至りしことを俟たず。従前は鑛山局編纂製鐵業參考資料所載の民間生産統計を以て權威とす。雖然其内容の包括的なるが爲に、更に實務上の要望に應ずべく大正 14 年以降鐵鋼協議會に於て各年明細統計を發表するに至れり。抑々明細生産統計作成の事たるや容易の業に非ず。特に多數生産單位を綜合する民間生産統計に於て然り、協議會統計の出現は甚だ慶賀すべきに係らず、又此困難を伴ひて一、二生産者の統計を欠くを以て常となすを遺憾とす。或は輕微なる經費を惜むの餘り、或は利己的立場に於て之を秘する者あるが爲なるべし。同業界共同の福祉の爲民間統計の完備を嚮望せざるを得ず。

(四) 以上の如く我國生産統計及輸入統計は最近漸く其體様を整へ、組織的統一的に供給統計を編成し得るに至れり雖然其明細の程度は未だ需給統計として要求せらるべき最少限度に過ぎず。

二、消費統計

鋼材需要の測定を現在の如く供給數量を基礎として推定するは、供給數量に供給者の豫想と獨斷とを含むのみならず供給品の用途不明なるが爲に經濟界の變動に對する需要變化の測定を誤まるの危険あり、合理的なる需要決定は消費者が一定の用途に消費する數量を基礎として行はるべし、即ち鋼材需給統計完成の一半は消費統計の整備に俟つ、雖然鋼材は品種に於て多種多様なるのみならず、用途に於て更に千差萬別を呈するが故に消費統計は其作成に無比の困難を伴ふ。之れ其の緊切なるに係らず、未だ組成的統一的に行はれざる所以なり。供給統計漸く成るの今日、鋼材消費統計完成の近き將來に来るべきを希望せざるを得ず。

現物週間小見 本所の在庫品は毎月 26 日から一週間を限り一般的に賣出すことにして 2 ヶ月になる。此の週間に於ける賣れ行きは刻下に於ける内地市況を極めて明瞭に反映するものとして一般から注目されてゐる。今最近に於ける現物週間の賣行に現はれた特徴を摘記して見る。

(イ) 細丸三分及四分の該當品は劣等品たるも短尺たるを問はず全部賣切れとなつて各品種の主位を占めてゐる。吾れらの第三小形工場の現況が遍く全國市場を支配してゐる證左である。

(ロ) 次ぎは軌條工場製型鋼てその殆ど全部が賣れ切れとなつた。軌條製作の必要上同工場の型物引受を極度に制限してゐる反映である。

(ハ) 最も賣れ足の早いものとして 75 耗、100 耗の山形、現在市場に品不足を呈してゐる $5 \times 2 \frac{1}{2}$ " の溝形、 6×4 吋、 7×4 吋の山形等も引抜かれてゐる。

七月中鋼材輸入概観

(噸)

	丸	角	平	等山	不等山	溝	工	鋼板 (0.7 耗超)	鋼板 (0.7 耗以下)	鋌力	軌條	線材	計
横濱	408	103	192	139	91	440	—	1,437	6,135	3,428	3,485	3,051	18,945
大阪	324	30	23	8	—	207	56	895	4,863	191	—	101	6,698
神戸	279	56	158	15	7	236	—	1,131	5,489	2,519	1,422	7,617	18,929
計	1,011	189	373	162	98	883	56	3,499	16,487	6,138	4,907	10,769	44,572
前月計	1,276	375	1,127	559	71	990	395	3,997	16,918	5,552	2,755	13,195	47,210

上表の如く主要鋼材の輸入數量は概観すれば殆んど極度の減少である。これは輸入に就ての各自の自重に依ること勿論であるが又一ツには安府罷業による積後れに影響されて居ることも見逃がすことの出来ない原因であらうと思はれる。此内薄板だけは稍過多で之れが市場に響いて軟勢に傾むいて居るものと見られる。軌條の増加は主として重軌條で電車用のものらしい。今市場に活躍して居る細丸は未だ其影を認めず何となく嵐の前の静寂の感がないでもない。

8 月上旬に於ける細丸及線材の輸入 8 月上旬の細丸は三港未だ殆んど記録する程の輸入はない。線材は上記の通り神戸 1,227 横濱 201 計 1,428(噸)

之れも安府罷業の影響によること大なるものがあると思ふ。随つて 9 月、10 月に掛けては相當の入荷を見るではあるまいか。

東京市況——動かず 海外は其後好調を持續してパー、ベース、7-9-6 は動かぬ處でそれに爲替安が影響して河岸着 100 圓弱みと云ふ大正 14 年以來の高價を現出して居るが扱て地場はと見れば天候の稀有の亂調子も手傳つて荷動き鈍く随つて此調子に乗る程の上伸もなくベース物 96-7 圓を彷徨し其他全般に保合状態を續けて居るが輸入減による總體的の在庫薄の爲に底意は中々に強い模様である。

丸 鋼。 細丸の亂舞は未だ収まらず $\frac{3}{8}$ が稍落ち著いたと見る間に先旬は $\frac{1}{2}$ が 4 圓 20 錢と昂騰し、引き續き連続的に $\frac{5}{8}$ $\frac{5}{16}$ $\frac{1}{4}$ が暴騰して居るが、此等は皆需要増加による騰貴でなく品薄が原因して居ることゝ、聲の割には大した事もない様であるが、需要期を眼前に控へて居るので益々硬化する模様である。

角、平鋼。 角は不變、平は例の $1 \frac{1}{2}$, 2" が未だ供給不足にて高値を呼んで居る。其他は落ち著き。

型 鋼。 アンガル並時物は先物高の現品安で大阪の高値に連れ約 1,000 噸位が大阪へ廻つた爲、東京市場も漸く落ち著きを見せて來た。溝、工の大形は不相變品薄状態で好調である。又工形より高い溝形が工形より下廻つて居ると云ふ奇現象を呈して居るものもあるが大體には荷動きも少なく保合つて居る。

鋼 板。 品豊富と需要不振から漸落歩調で目先も弱しと見られて居る。

線 材。 7 月輸入が大阪方面は約 7,500 噸、東京方面が約 3,000 噸で例月より稍少ないのが市場に響いて東西共好調である。

黒 板。 製品の出荷が甚だしく鈍調な爲原板も不冴。只秋口の需要期を頼んで弱保合を續けて居るに過ぎない模様である。

外國爲替市中相場

區分	月日	Aug. 1	2	3	4	6	7	8	9	10
	日 英		$\frac{1}{10} - \frac{3}{8}$	"	$\frac{1}{10} - \frac{5}{16}$	"	$\frac{1}{10} - \frac{3}{8}$	"	"	"
日 米		$45 - \frac{5}{16}$	$45 - \frac{1}{4}$	$45 - \frac{1}{8}$	"	$45 - \frac{1}{4}$	"	"	"	$45 - \frac{1}{8}$
日 佛		11.45	"	"	"	"	"	"	"	"

備考 日佛のみ正金建値。

昭和3年6月中國別輸入數量表 (單位噸)

品 種	國 別	英	佛	獨	白	塊	和	典	合	關	印	其他	計	本年度 累 計
○鉄	鐵	610							51	14,094	24,904	2,135	41,794	275,294
○フェロ、マンガニース		508						1					509	902
フェロシリコン及シリコスビー				12								126	138	795
ゲルアイゼン														
○其他の不可鍛成鐵合金		9		2				16					27	145
シート、バー (ティンバーを含む)		207	201	3,820	2,839							1,066	8,133	28,922
○インゴット、ブルーム、ピレット			49	949			149		55				1,208	5,995
及スラップ														
○ケックスチール及バンブースチール		1						64					65	480
○其他の塊及錠鐵														69
條及(丸、角、及平形にして徑邊又		57	10	488	395			45	4			7	1,006	10,596
竿鐵(は幅15m/mを超えざるもの)														
〃(丸、角、平のもの其他)		130	82	1,418	215	95		130	41			4	2,115	17,021
〃(テー形及アングル形)		809	11	388	224		72		134				1,638	19,295
〃(其他)		190	1,028	1,749	548				244				3,759	29,260
レ			216	1,824					627				2,667	23,131
フィッシュ、プレート			9	59					35				103	1,197
ワイヤー、(巻きたるものにして徑														
ロッド(5m/mを超えざるもの)								31	966				997	1,543
〃(巻きたるもの其他)		476	2,205	6,816	1,309	75		76	1,960			1,242	14,159	71,299
鐵(金屬を鍍せざるものにして厚														
板(0.7m/mを超えざる珪素鋼板)		112		77				20	346				555	4,254
〃(金屬を鍍せざるものにして厚														
〃(0.7m/mを超えざるもの其他)		9,475		1,774	192				3,210				14,651	82,789
〃(金屬を鍍せざるものにして厚														
〃(3m/mを超えざるもの)		167	61	675	249			15	511				1,678	6,936
〃(金屬を鍍せざる其他)		1,454	20	3,581	331			8	61				5,455	33,579
〃(錫鍍したるもの)(葉鐵及葉鋼)		1,528		5					3,411				4,944	36,784
〃(亞鉛鍍したるもの)		1		20					141			10	172	906
〃(其他卑金屬を鍍したるもの)														6
鐵	線	52		500	2	1	25	25	209				814	4,367
リード、ワイヤー		1	2									1	4	105
鐵	リボン	84	1	208				15	49				357	1,990
帶	(箍鐵)	208	331	2,865	663				5	3		6	4,081	16,288
パラゴン、ワイヤー		2						3					5	132
線	索	32							16			1	49	297
撚	合線	1											1	53
バーブド、ツイスト、ワイヤー					5				203				208	429
鐵	筒及管	547	705	1,522	44			6	1,270			3	4,097	27,895
○屑及故鐵				401	80			3	7,331	615	3,902	6,514	18,846	152,139
特	殊鋼(稅表ノ一)	13	13	31	1	41		33	3		6	3	144	718
	(稅表ノ二)	26		10		14		16				1	67	852
鐵道車輛用車輪及車軸									49			1	50	402
鐵道車輛用タイヤ				44									44	320
鐵道車輛用スプリング									1			1	2	3
合	計(○印を除く)	15,365	4,694	24,054	4,178	226	97	423	13,496	9		1,280	63,822	392,447

東京市中相場

8月8日

丸鋼		等邊山形鋼		Y形鋼	
6 ^{m/m} (1/4")	14.40 (5.40)	9 ^{m/m} × 75 × 75	9.20 (3.45)	0.36" × 5" × 10"	9.87 (3.70)
9 (3/8)	13.07 (4.90)	9 × 130 × 130	9.33 (3.50)	鋼板	
12 (1/2)	11.33 (4.25)	12 × 130 × 130	" (")	1.6 ^{m/m} × 3' × 6'	13.07 (4.90)
3/4	9.73 (3.65)	15 × 150 × 150	" (")	1.6 × 4 × 8	12.93 (4.85)
1	9.60 (3.60)	不等邊山形鋼		3.2 × 4 × 8	12.00 (4.50)
50 (2)	9.73 (3.65)	3/8" × 2" × 3"	9.47 (3.55)	3.2 × 5 × 10	" (")
65 (2 1/2)	9.60 (3.60)	3/8 × 3 × 4	" (")	6.0 × 4 × 8	10.53 (3.95)
角鋼		3/8 × 3 1/2 × 5	10.00 (3.75)	6.0 × 5 × 10	" (")
9 ^{m/m} (3/8")	12.00 (4.50)	3/8 × 4 × 6	9.60 (3.60)	9.0 × 4 × 8	10.40 (3.90)
12 (1/2)	9.87 (3.70)	1/2 × 4 × 6	10.40 (3.90)	9.0 × 5 × 10	" (")
15 (5/8)	9.60 (3.60)	溝形鋼		薄鋼板(13枚)	
19 (3/4)	" (")	1/2" × 2" × 4"	9.33 (3.50)	米	74
38 (1 1/2)	9.47 (3.55)	0.312 × 2 1/2 × 5	10.40 (3.90)	英	73
平鋼		3/8 × 3 × 6	9.87 (3.70)	八幡	72
1/4" × 1 1/2"	11.73 (4.40)	3/8 × 3 × 8	10.13 (3.80)	鋼力板	
1/4 × 2	12.00 (4.50)	3/8 × 3 1/2 × 10	10.00 (3.75)	米 { 170 ^{mm}	23.00
3/4 × 3	9.60 (3.60)	3/8 × 3 1/2 × 12	10.13 (3.80)	100	12.50
3/8 × 4	9.73 (3.65)	工形鋼		170	22.50
1/2 × 4	" (")	1/4" × 3" × 6"	9.87 (3.70)	100	11.80
等邊山形鋼		3/8 × 6 × 12	10.67 (4.00)	170	22.50
6 ^{m/m} × 50 × 50	9.20 (3.45)	0.28 × 4 × 8	10.40 (3.90)	100	11.80
6 × 65 × 65	" (")	0.35 × 5 × 12	" (")	線材	
				No. 5 #	106.00

備考、單位百斤につき(括弧内は十貫目)。但し薄板は一枚當り。線材は一連當り。鋼力板は一箱當り。

昭和參年十月渡定期及先物契約數量表 單位題

寸法	題數	寸法	題數	寸法	題數	寸法	題數	寸法	題數	寸法	題數	
丸	鋼	28 ^{m/m}	60	3 1/2"	57	12 × 3 1/2	141	鋼	板			
6 ^{m/m}	445	32	95	3 5/8	84	15 × 4	50	1.6 ^{m/m}	1.114			
8	255	38	185	4	105	計	2,300	2.3	421			
9	3,201	44	95	計	5,723	5 × 3	411	3.2	990			
12	1,865	50	45	等邊山形鋼		5 × 3 1/2	350	工形鋼	4.5	255		
50	331	55	10	40 ^{m/m}	283	6 × 3 1/2	110	5" × 3"	34	6.0	438	
55	106	65	30	45	56	6 × 4	374	6 × 3	74	8.0	56	
60	5	75	15	50	254	計	1,871	8 × 4	349	9.0	187	
65	145	計	573	55	254	溝形鋼		9 × 4	85	11.0	50	
75	130			65	752	12 × 5	321	10 × 5	321	12.0	120	
90	20			75	861	12 × 6	106	12 × 5	186	計	3,631	
100	10	平	鋼	90	170	12 × 6	106	14 × 6	100			
計	6,513	3/4"	297	100	178	14 × 6	100	16 × 6	220			
		7/8	403	130	559	16 × 6	220	18 × 7	258			
		1	801	150	789	20 × 7 1/2	185	24 × 7 1/2	122			
角	鋼	1 1/4	749	計	3,902	計	2,050					
m/m		1 1/2	691									
12	18	1 3/4	313	不等邊山形鋼								
15	29	2	944	3" × 2"	169							
19	18	2 1/2	653	9 × 3 1/2	159							
25	23	3	626	10 × 3 1/2	280	條鋼計	22,932					

製鐵所販賣旬報 第67號 和昭3年8月21日

生産分野と義務數量 官民生産分野協定の結果當所の義務分野となつたもの、義務數量、最近1ヶ年の生産額及過不足額は下の通りとなつた。

分野	義務數量	實産額	過不足
100 耗以上の丸鋼	12,000	11,415	(-) 585
角鋼全部	16,000	15,123	(-) 877
2 5/8 以上の平鋼	10,000	13,065	(+) 3,065

問題となるは以上の中丸鋼及角鋼に付き若干の不足額を示した點に在る。此分野に該當する當該期間中の輸入額を見ると下の如き數字を示す。

100 耗以上の丸鋼 7,684 角鋼全部 6,788

製鐵所は内に義務數量の製作をすらすら爲し得ずしてしかも外に相當多額の輸入を看過して居るではないかと言ふ事である。然し輸入高の大半は本所が製作困難として禁止かエキストラを附して居る寸法物が大部分を占めて居る點に鑑みるときは蓋し已むを得ざるものたることが肯かれるであらう。

丸 鋼	50 耗以上 100 耗未満 超 100 耗	2,573 噸	角 鋼	15 耗未満 100 耗以上	3,725 噸
		5,011			952

恒例先物協議會 11 月積値段決定を目的として、8 月 11 日大阪北濱大阪俱樂部に開く。恒例に依る買手よりの提出値段及び決定値段下の如し、

品 種	棒 鋼	小中形山形	大形山形	工 形	溝 形	鋼 板	線 材	鋺力100封度	170 封度
沖著値段	7-8-6	7-4-0	7-3-6	6-13-0	7-5-0	8-0-0	7-11-9	1-0-1	1-16-8
河岸著値段	98-89	96-54	96-28	90-79	97-07	104-91	96-63	11-45	20-86
希望値段	98-00	95-00	95-00	90-00	96-00	102-00	96-00	11-25	21-00
本所決定値段	99-00	97-00	96-00	91-00	97-00	104-00	97-00	11-40	20-90
備 考	4圓上ゲ	2圓上ゲ	左同	3圓上ゲ	2圓上ゲ	左同	3圓上ゲ	15錢上ゲ	10錢上ゲ

輸入値段は連騰に次ぐに連騰を以てする、而かも内地市場は必ずしも之に副ひ得るや否や疑があるとして、買手側に於ては急激なる値上を悦ばざる空氣も見えて居た。此の傾向は厚板に於て特に見立つて居た。本所は此の點に著眼して厚板に付き若干の手心を加えたが其の他に就ては理論通り決定發表した。

重軌條實行旺盛 當所重軌條の需要は近時頓に旺盛となり今旬決定したもの約 200 哩 (約 27,000 噸) で内容次の通り

註文者	朝鮮總督府鐵道局		伊勢鐵道	北總鐵道	參宮電鐵	其 他	計
品 種	50kg	37	30	30	37	30	
哩 數	30哩	70哩	31哩半	25哩半	25哩	10哩	192哩

黑板入札 當所月積黑薄鋼板の入札は 8 月 15 日開札成績下の通り。

	第 1 薄板工場	第 2 薄板工場	數量
8 月	188圓76-188-58	189-54-188-58	1,540噸150
前回	188-70-187-53	188-60-187-70	

即ち入札價格は殆んど變化がないが著しく目立つのは今迄第 1 工場製品は第 2 工場製品に比し可なり下値であつたものが近來は値開きが追々と接近して來て、先月は逆轉し今月も僅かの差があるのみである。之れは一に従業員諸君の努力の結果が一般に認められたに外ならず誠に喜ばしい事である。

8 月中旬神戸横濱兩港細丸線材の輸入 細丸は未だ殆んど其影を認めず兩港合して僅に 15 噸のみ。線材も例月に比し輸入少なく爲に東西共高値を保つては居るが、將來の相當の輸入を豫期して居ることゝ賣腰弱く、何れかと云へば手持薄の割には伸び悩みの状態にある。

線材輸入 (噸)

	中旬	上旬	計		中旬	上旬	計		中旬	上旬	計
神 戸	1,992	1,227	3,219	横 濱	864	201	1,065	計	2,856	1,428	4,284

外註値段其他の報告義務設定 本所先物が益々重視せられ、且つ其方針が外註値段追從の下に一貫する結果、外註値段並に外註状況を察知する資料を益々正鵠ならしむべき必要を生ずる。この要求を満すべく本所は本月 18 日以後主要輸入業者たる 4 社に對し外註値段其他の報告義務を負担せしめ本所が先物として賣出してゐる各種鋼材に就て輸入契約をなし又は輸入値段の入電があつた場合には下記の事實を遅滞なく販賣部長宛親展書を以て報告せしむることとした。

1. 輸入契約をなしたる時は買付先、積月、品種、寸法別、數量、鋼質、規格、沖著値段、賣渡地、賣渡値段及其他條件

2. 外註値段の入電ありたる時は發信先、積月、品種、寸法別、數量、沖著値段及之を河岸著値段に換算したる場合の推算額

尙この報告を怠り又は虚偽の報告をなした場合には先物契約の割當をなさざるの制裁を附し、4社は本支店を通じて之を適用することとした。

第二號鋼材年報の刊行 官民一致の協力と本所の劃切なる施設萬端とにより不振裡に沈淪しておた我鐵鋼業界は漸く黎明を告ぐるの感がある鐵鋼業は凡ての方面に更生の氣運を育んだ。我鋼材年報も亦其の一である。昨年初めて旬報と相並んで販賣年報を編纂し、多難なる航路を歩む者には詳細なる海圖ともなす爲に之を刊行した。本年は販賣年報を鋼材年報と改め其内容に一段と充實を期して編纂し、特に廣く市場に頒布して便益を圖らんが爲に木曜會をして刊行せしむることとした。我國鐵鋼業の指針となり、市場の健全なる進展に寄與し得べきを信ずる。(尙製鐵所東京出張所内木曜會事務所に於て實費一圓を以て廣く希望者に頒布する由)。

東京市況——丸鋼騰勢——其他駭り 其後海外は依然として強調を持續し、爲替は續落し、其上、當所先物高の發表により市場は異狀の刺戟を受け、丸鋼など益々昂騰を續けて居る。需要者としても今迄は高値におびえ、一面反落を豫期して見送り勝であつたが當所再度の値上げあり、爲替の轉機も頼み難く、四圍の狀勢昂騰の一路を辿るのみならず眼前の需要期に處する爲何としても手當を必要として來たので逐次を買氣付きたる模様で從つて商狀も全般的に駭りである。

丸 鋼。品ガスレと輸入絶無と需要期を眼前に控へて、細丸の昂騰猶止まず、特に 1/4、5/16、1/2 など目覺しいものである、其他も當所先物高に追從して 98, 9 圓と騰勢を辿り、目先強氣構である。

角、平。不變。

型 鋼。一般としては稍上向歩調であるが丸鋼と云ふアブノーマルのものを傍に眺めて居ること一向難有たがらず其上、山形は 2, 3,000 噸の安い物が未だ市場に浮動して居るので其の始末が付くまでは大した豫期も出來ない様である。

鋼 板。不相變の品豊富により商況不況。

線 材。輸入の處に書いた様に今月の輸入減は安府積後れによると觀察されて居るので、それによる先行の不安及び釘、針金の製品の鈍調から在庫薄の割に腰弱の様である。

昭和三年七月中神戸、大阪、横濱、三港輸入鋼材寸法別總計表

單位、噸、噸以下四捨五入

Table with multiple columns listing steel specifications (寸法), quantities (噸數), and various steel types (丸鋼, 角鋼, 型鋼, 鋼板, 線材). Includes sub-totals and grand totals for different categories.

外國爲替市中相場

區分	月日	Aug. 11	13	14	15	16	17	18	20
日	英	1/10-5/16	1/10-1/4	"	"	1/10-3/16	1/10-1/16	1/10-1/8	"
日	米	45-1/8	45	"	"	44-7/8	44-3/8	44-1/4	"
日	佛	11.45	11.40	"	"	11.35	11.30	"	"

備考 日佛のみ正金建値。

東京市中相場

8月20日

丸鋼	等邊山形鋼	工形鋼
6 ^{m/m} (1/4") 14.67 (5.50)	9 × 75 × 75 9.33 (3.50)	0.36" × 5" × 10" 9.73 (3.65)
9 (3/8) 13.33 (5.00)	9 × 130 × 130 9.47 (3.55)	鋼板
12 (1/2) 11.87 (4.45)	12 × 130 × 130 " (")	1.6 ^{m/m} × 3' × 6' 13.07 (4.90)
3/4 10.53 (3.95)	15 × 150 × 150 " (")	1.6 × 4 × 8 12.80 (4.80)
1 10.00 (3.75)	不等邊山形鋼	3.2 × 4 × 8 12.27 (4.60)
50 (2) 9.87 (3.70)	3/8" × 2" × 3" 9.60 (3.60)	3.2 × 5 × 10 12.00 (4.50)
65 (2 1/2) " (")	3/8 × 3 × 4 " (")	6.0 × 4 × 8 10.67 (4.00)
角鋼	3/8 × 3 1/2 × 5 10.00 (3.75)	6.0 × 5 × 10 " (")
9 ^{m/m} (3/8") 12.00 (4.50)	3/8 × 4 × 6 9.60 (3.60)	9.0 × 4 × 8 " (")
12 (1/2) 9.87 (3.70)	1/2 × 4 × 6 10.00 (3.75)	9.0 × 5 × 10 " (")
15 (5/8) 9.60 (3.60)	溝形鋼	薄鋼板(13枚)
19 (3/4) " (")	1/4" × 2" × 4" 9.33 (3.50)	米 76
38 (1 1/2) " (")	0.312 × 2 1/2 × 5 10.40 (3.90)	英 75
平鋼	3/8 × 3 × 6 9.87 (3.70)	八幡 74
1/4" × 1 1/2" 11.47 (4.30)	3/8 × 3 × 8 10.13 (3.80)	鋼力板
1/4 × 2 12.00 (4.50)	3/8 × 3 1/2 × 10 " (")	米 { 170 ^{lbs} 23.00
1/4 × 3 9.87 (3.70)	3/8 × 3 1/2 × 12 " (")	100 12.50
3/8 × 4 10.00 (3.75)	工形鋼	英 { 170 22.50
1/2 × 4 " (")	1/4" × 3" × 6" 9.87 (3.70)	100 11.80
等邊山形鋼	3/8 × 6 × 12 11.20 (4.20)	八幡 { 170 22.50
6 × 50 × 50 9.33 (3.50)	0.28 × 4 × 8 10.67 (4.00)	100 11.80
6 × 65 × 65 " (")	0.35 × 5 × 12 10.40 (3.90)	線材
		No. 5 # 108.00

備考、單位百斤につき(括弧内は十貫目)。但し薄板は一枚當り。線材は一巻當り。鋼力板は一箱當り。

製鐵所販賣旬報 第 68 號 昭和 3 年 9 月 1 日

歐洲高の一因 近頃内地鋼材の暴騰は4-5年來の盛事で取引業者は勿論其の餘澤は珍しくも製造業者に迄及んで居るやうだが、其の原因としては種々擧げ得るであらうが最大事由は何と云つても海外市況の續騰に追隨したのである。

昨年迄苦しみに苦しんだ歐洲鐵鋼界が何故今年になつて急に回復したか此も種々憶測せらるゝが第一原因は矢張り歐洲内部に於ける實需の勃興である。歐洲の内でも獨逸は最も早く既に昨年 400 萬噸の増産に拘らず造船、建築、鐵道方面の需要増加に吸盡されて輸出に對する熱を缺いて來た事は顯著なる傾向であつたが此は獨逸のみならず最近に至つては佛白亦同傾向を示して來た。

佛蘭西では生産高(鋼塊)を比較すると

昨年上半年月平均 667,000 噸 本年上半期月平均 755,000 噸

即月平均 88,000 噸の増産に拘らず内地需要の増加によつて輸出數量は却て減少して居る。此は何處の國でも同じく輸出商内より内地賣の方が値段其他の條件が大底多少有利に違ひないから内地賣を先にし輸出は後回しにされるのである輸出數量は(屑類を除き)

昨年上半年月平均 460,000 噸 今年上半期月平均 420,000 噸

此の如き佛蘭西内地需要の主なるものは次の如く傳へられて居る。

1. 佛蘭西鐵道の電化計畫
2. 左に伴ふ電氣機關車及客貨車の建造
3. 同じく左に伴ひ現在客車 20 萬輛に對し自

働制動機の設備 4. 海軍の建造計畫 (5ヶ年繼續) 5. 政府事業として住宅建築 (5ヶ年繼續) 平家建小家屋 20 萬戸、中家屋 6 萬戸 6. 自動車製造工業の隆盛

以上の傾向は大小、多少の差こそあれ自耳義ルクセンブルグでも亦同様で各工場共普通3ヶ月分位の注文は握て居るやうである。此勢に乘じ目下銻鑪5基建造中とかで完成の上は生産能力約10%増加すると云ふ、何とも早お旺んで結構な話である。

再び統計上より見たる三分丸の需給に就て

一、旬報 61 號に三分丸の需給を記載したが其後の諸材料を加へ再び其需給状態を記録して見ると次の通りである。

區分	1 月	2 月	3 月	4 月	5 月	6 月	7 月	計
本 所	3,874	3,506	3,523	2,868	1,429	3,962	4,453	23,615
民 間	781	1,443	858	1,398	2,063	1,112	1,000(?)	8,654
輸入(三港丈)	645	1,591	382	421	6	52	0	3,097
計	5,300	6,540	4,763	4,686	3,498	5,126	5,453	35,366

此表中7月に於ける民間製産高は未だ一部の統計不明なる爲め最小限度に推定したものである。

此の本年7月迄の供給數量 35,366 噸と昨年の總供給數量 52,319 噸の7ヶ月分 38,934 噸とを比較すると本年7月末に於て昨年同期に比し 3,568 噸の供給減少となる。

二、大正 13 年以降の三分丸の供給及び其増減を掲記すれば下表の通りである。

區分	大正 13 年	大正 14 年	昭和元年	昭和 2 年
三分丸1ヶ年供給數量	約39,000	約38,600	52,319	66,743
前年に比し増(減)		(400)	13,719	14,424

此れによつて見れば(大正 13 年は震災直後の年なるを以て除く)復興建築の道程にある近年は大體に於て1ヶ年約 14,000 の内外の増加がある様に考へられる。此増加率を基礎として本年7月迄の増加數量を算定すれば約 8,000 噸となる。此れに前記の昨年に比し7月迄に不足した供給總數量 3,568 噸を加へたる 11,568 噸が7月末の市場に於ける不足數量となる。

三、近來市場雀の囀る「細丸外注1萬噸」の聲を信實なものとして其内 6,7,000 噸が三分丸としても、内地生産が此儘の率で推移し、また實際 14,000 噸の消費力の増加があれば、本年末に於ける三分丸は寧ろ供給不足で苦しむであらうが、當所第三小形製品月額約 2,500 噸の増産が9月より開始せらるゝこと及び前記の考察は多分の假定を含み猶此の増加率なるものが僅か2ヶ年の記録に據つたと云ふ非常に粗雑なるものに立脚して居ることを考ふれば其樂觀は餘程割引する必要があらう。又此外に市場を左右する重大な原因として、外注品の入荷状態が平均しあるや偏在しあるや、又偏在するとせば其の主力の入荷が消費力の旺盛な 9, 10 月にあるか或は需要季節を過ぎた年末近くにあるかを數へることが出來よう。

1.1 月積先物賣行概況

一、條 鋼

(1) 賣出噸數

一、二小形	三小形	線 材	一中形	二中形	一大形	二、三大形	軌 條	計
1,000	1,000	200	1,000	1,000	1,000	2,000	200	7,400

(2) 揚地別申込噸數

	丸	角	平	等 邊	不等邊	溝	工	計
東 京	8,740	115	1,514	1,077	470	662	746	13,324
大 阪	7,787	200	1,170	2,315	1,080	1,272	1,481	15,305
名 古 屋	1,203	25	108	80	8	—	—	1,424
其 他	402	36	300	166	—	20	—	924
計	18,132	376	3,092	3,638	1,558	1,954	2,227	30,977

(3) 引受吨数〔定期及先物(括弧内)〕

品名	丸	角	平	等	邊	不等邊	溝	工	計
線材	500 (201)	—	—	—	—	—	—	—	500 (201)
— 小	—	190 (91)	3,170 (687)	190 (228)	—	—	—	—	3,550 (1,006)
三 小	4,350 (914)	—	—	200 (94)	—	—	—	—	4,550 (1,008)
— 中	—	180 (36)	855 (715)	—	165 (190)	—	60 (60)	—	1,200 (1,001)
二 中	540 (200)	— (35)	—	1,010 (619)	450 (141)	—	—	—	2,000 (995)
— 大	—	—	—	90 (128)	650 (367)	870 (464)	190 (77)	—	1,800 (1,036)
二、三大	—	—	—	503 (544)	—	414 (283)	783 (865)	—	1,700 (1,692)
軌 條	—	—	—	—	—	202 (138)	98 (53)	—	300 (191)
計	5,390 (1,315)	370 (162)	4,025 (1,402)	1,993 (1,613)	1,265 (698)	1,486 (945)	1,071 (995)	—	15,600 (7,130)

二、鋼 板

(1) 賣出、申込、引受吨数

	賣出	申込	決定
厚 板	1,000	1,096	1,013
一 中板	80	7,821	800
二 中板	1,000	8,579	1,000
計	2,800	17,496	2,813

(2) 揚地別、申込、吨数

	東京	大阪	名古屋	其他	計
厚 板	331	530	145	90	1,096
一 中板	4,665	2,852	113	191	7,821
二 中板	3,235	4,765	175	404	8,579
計	8,231	8,147	433	685	17,496

三、線 材

	賣出	申込	決定	賣出	申込	決定	賣出	申込	決定	
線材	1,500	3,120	1,500	製釘材	3,000	3,000	計	4,500	6,120	4,500

四、鉄力板

(1) 賣出、申込

	賣出	申込
市場向	1,200	1,430
實需向	300	300
計	1,500	1,730

(2) 決定吨数

	170封度	100封度	オイルサイズ	計
市場向	633	420	147	1,200
實需向	50	50	200	300
計	683	470	347	1,500

條鋼は先月と比較して總數量に於て約 2,200 吨の増加であるが、特異な點は、丸鋼の申込に於て東京が約 2,200 吨の減少を見大阪に於て約 2,600 吨を増加したること、等邊に於て東京の約 800 吨を筆頭に、各地共増加して先月より約 1,000 吨の増加を來たしたることである。

猶市況と當所先物申込の關係を見る爲め 4 月渡以降の條鋼申込數量を列記して見ると下の通りである。

區分	4 月渡	5 月渡	6 月渡	7 月渡	8 月渡	9 月渡	10 月渡	11 月渡
條鋼總申込數量	13,188	13,946	8,621	12,990	15,032	29,813	28,720	30,977
丸鋼申込數量	3,020	4,151	866	2,037	5,346	18,350	17,529	18,132
丸鋼を除きたる申込數量	10,168	9,795	7,755	10,963	9,686	11,463	11,191	12,846

これによつて大體の市場の趨勢が見られると思ふ、即ち 5 月 10 日過ぎより昂騰し始めた細丸は 8 月渡に稍其鋒芒を現はし、9 月渡以降は市場の暴騰状態を如實に現出して其申込の殆んど全部が細丸と云ふ物凄い有様である。丸

鋼を除いた其他のものを見ると6月を轉起として抛一張一はあるが大體に於て逐次に申込數量の増加を示して居るのも此等の品種の漸進的好轉を窺ふことが出来るであらう。

鋼板は東京に於て約700 噸を減じ大阪に於て約500 噸を増加した外、先月と大差なく又線材も不相變申込旺盛で先月より約300 噸の増加を示して居る。

8月現物週間——細丸工形賣切 8月の現物賣出及賣約噸數は下の通り

	丸	角	平	山	工	溝	計
賣出噸數	356	49	68	1,904	167	354	2,898
賣約噸數	143	3	25	219	167	63	620

細丸は先月と同様如何なる品種を問はず全部賣切れとなり残つたものは市場で鈍調な4"以上のもの許りである。細丸と同様全部賣切となつたものに工形がある。これは大阪に於ける工形的好調を反映したものだと思はれる。

8月下旬神戸、横濱兩港 細丸、線材の輸入

港	寸法	細丸					計	線材		
		1/4"	5/16	3/8	1/2	5/8		上、中旬計	下旬	八月中計
神戸	8	25	—	101	100	234	神戸	3,219	7,267	10,486
横濱	10	10	41	—	—	61	横濱	1,065	509	1,574

外國爲替市中相場

區分	月日	Aug.21	22	23	24	25	27	28	29	30
H	英	1/10-1/8	"	"	"	1/10-5/16	1/10-13/32	1/10-3/8	"	1/10-5/16
H	米	44-3/4	"	"	"	45-1/8	45-5/16	45-1/4	"	45-1/8
H	佛	11.30	"	"	"	11.45	"	"	"	"

備考 日佛のみ正金建値。

東京市中相場

8月30日

丸 鋼		等邊山形鋼		工形鋼	
寸法	噸價	寸法	噸價	寸法	噸價
6 ^m /m (1/4")	15.20 (5.70)	9 × 75 × 75	9.33 (3.50)	0.36" × 5" × 10"	9.73 (3.65)
9 (3/8)	14.27 (5.35)	9 × 130 × 130	9.47 (3.55)	鋼 板	
12 (1/2)	12.00 (4.50)	12 × 130 × 130	" (")	1.6 ^m /m × 3' × 6'	13.07 (4.90)
3/4	10.80 (4.05)	15 × 150 × 150	" (")	1.6 × 4 × 8	12.93 (4.85)
1	10.27 (3.85)	不等邊山形鋼		3.2 × 4 × 8	11.73 (4.40)
50 (2)	9.87 (3.70)	3/8" × 2" × 3"	9.60 (3.60)	3.2 × 5 × 10	" (")
65 (2 1/2)	" (")	3/8 × 3 × 4	" (")	6.0 × 4 × 8	10.53 (3.95)
角 鋼		3/8 × 3 1/2 × 5	10.00 (3.75)	6.0 × 5 × 10	10.67 (4.00)
9 ^m /m (3/8")	12.27 (4.60)	3/8 × 4 × 6	9.60 (3.60)	9.0 × 4 × 8	" (")
12 (1/2)	9.87 (3.70)	1/2 × 4 × 6	10.27 (3.85)	9.0 × 5 × 10	" (")
15 (5/8)	9.73 (3.65)	溝 形 鋼		薄 鋼 板 (13枚)	
19 (3/4)	9.60 (3.60)	1/4" × 2" × 4"	9.33 (3.50)	米	74
38 (1 1/2)	" (")	0.312 × 2 1/2 × 5	10.53 (3.95)	英	73
平 鋼		3/8 × 3 × 6	9.87 (3.70)	八 幡	"
1/4" × 1 1/2"	11.73 (4.40)	3/8 × 3 × 8	10.13 (3.80)	試 力 板	
1/4 × 2	12.00 (4.50)	3/8 × 3 1/2 × 10	10.00 (3.75)	米	{ 170 ^{Us} 23.00
1/4 × 3	9.87 (3.70)	3/8 × 3 1/2 × 12	10.13 (3.80)	100	12.50
3/8 × 4	10.00 (3.75)	工 形 鋼		英	{ 170 22.50
1/2 × 4	" (")	1/4" × 3" × 6"	9.87 (3.70)	100	11.80
等邊山形鋼		3/8 × 6 × 12	11.33 (4.25)	八 幡	{ 170 22.50
6 × 50 × 50	9.33 (3.50)	0.28 × 4 × 8	10.67 (4.00)	100	11.80
6 × 65 × 65	" (")	0.35 × 5 × 12	10.93 (4.10)	線 材	
				No. 5 #	110.00

備考、單位百斤につき(括弧内は十貫目)。但し薄板は一枚當り。線材は一趙當り。試力板は一箱當り。

昭和參年十一月渡定期及先物契約數量表

單位題

寸法	題數	寸法	題數	寸法	題數	寸法	題數	寸法	題數	寸法	題數
丸	鋼	25 ^m / _m	20	3 ¹ / ₂ "	34	3 ¹ / ₂ " × 2 ¹ / ₂ "	175	12' × 3 ¹ / ₂ '	142	鋼	板
6 ^m / _m	376	23	5	3 ³ / ₈ "	40	3 ¹ / ₂ " × 2 ¹ / ₂ "	65	15 × 4	148	1.6 ^m / _m	1,032
8	325	32	85	4	68	3 ¹ / ₂ " × 3	75	計	2,341	2.3	368
9	3,187	38	121	計	5,427	4 × 3	516	工		3.2	1,147
12	2,077	44	95			5 × 3	220	形	鋼	4.5	443
50	306	50	10	等邊山形鋼		5 × 3 ¹ / ₂	339	5" × 3"		6.0	393
55	119	55	5			6 × 4	458	6 × 3		8.0	248
60	5	65	15	40 ^m / _m	415	計	1,963	6 × 5		9.0	293
65	179	100	5	45	71			溝形鋼		11.0	30
75	115	計	532	50	223			200 × 100		12.0	112
90	11			65	767			9 × 4		16.0	19
100	5			75	794	3" × 1 ¹ / ₂ "	60	10 × 5		計	4,085
計	6,705	平	鋼	90	68	5 × 2 ¹ / ₂	465	10 × 6			
		3 ¹ / ₄ "	260	100	218	6 × 2 ¹ / ₂	186	12 × 5			
		7 ¹ / ₈	260	130	287	6 × 3	414	14 × 6			
		1	793	150	699	6 × 3 ¹ / ₂	50	16 × 6			
角	鋼	1 ¹ / ₄	656	200	61	7 × 3	124	18 × 7			
		1 ¹ / ₂	611	計	3,606	8 × 2 ¹ / ₂	95	20 × 7 ¹ / ₂			
12	82	1 ³ / ₄	296			8 × 3	273	24 × 7 ¹ / ₂			
15	79	2	981			9 × 3	50	計	2,066		
19	5	2 ¹ / ₂	738	不等邊山形鋼		9 × 3 ¹ / ₂	195				
22	5	3	690	3" × 2"	115	10 × 3 ¹ / ₂	229	條鋼計	22,730		

昭和三年七月分契約高

品 種	官 廳 小 計		民 間 小 計		七 月 中 合 計			本 年 度 累 計		
	題 數	金 額	題 數	金 額	題 數	金 額	題 當	題 數	金 額	題 當
大 條	1,451	166,868	8,073	767,478	9,524	934,346	98.10	43,477	4,214,828	96.94
中 條	543	73,448	5,234	491,814	5,777	565,262	97.85	31,501	2,987,899	94.85
小 條	128	19,753	11,237	1,085,796	11,365	1,105,549	97.28	55,154	5,258,394	95.34
鋼 板	1,027	160,380	9,626	985,786	10,653	1,146,166	107.59	56,269	6,243,056	110.95
重軌條及附屬品	503	51,403	3,254	322,803	3,757	374,206	99.59	95,647	9,655,970	100.95
輕軌條及附屬品	31	3,354	3,018	268,572	3,049	271,926	89.21	10,642	1,041,635	99.89
線 材			4,550	416,758	4,550	416,758	91.60	17,716	1,571,880	88.73
黑板、珪素鋼板、鍍力板			4,031	928,458	4,031	928,458	230.37	19,072	4,233,614	221.99
車軸、外輪、鍛成品	96	32,867	616	126,492	712	159,359	233.74	3,612	979,976	271.31
工具鋼、特殊鋼			46	8,534	46	8,534	184.76	535	125,332	224.27
其 他 鋼 材	2	298	1	144	3	442	179.28	7,290	649,685	89.13
鋼 材 小 計	3,781	508,371	49,686	5,402,635	53,467	5,911,005	110.55	340,915	36,962,269	108.42
鋼片、鋼塊、シート			8,600	615,100	8,600	615,100	71.82	35,557	2,569,943	72.28
以 上 計	3,781	508,371	58,286	6,017,735	62,067	6,526,105	105.14	376,472	39,532,212	105.91
短 尺 及 屑 鋼			9,901	775,996	9,901	775,996	78.38	47,782	3,697,621	77.85
合 計	3,781	508,371	68,187	6,793,731	71,968	7,302,102	101.46	424,254	43,229,833	101.90
副 製 品		4,400		715,501		719,901			2,479,731	
其 他										

備考 1. 單位、題及圓 2. 題及圓以下切捨=付合計ハ符合セズ。

久しく影を止めなかつた細丸は今旬に入りて愈々先驅の姿を現はした、扱てこれより如何に轉換するか、數量こそ些少ではあれ秋に先立つて落つる梧桐一葉の感がある。

線材は神戸は中旬まで非常に入荷少く爲に大阪市場は 115 圓迄の呼聲さへあつたが下旬に入り俄然下表の如き入荷を見稍落付きを見せた模様である。東京は横濱入荷が些ない關係上益々駭りである。

東京市況——細丸騰昂止まず 帳端まで大體保合を續けて來たが來勤に入ると共に細丸は復又昂騰し初めた。夫れに連れ少しづつであるが其他のものも全般的に上向き歩調となり、荷動きも相當活潑となつて來たのと相俟つて目先益々駭りと云はれて居る。

丸 鋼。5 月中旬以來暴騰に次ぐに暴騰を以てした細丸の騰勢は何時止むべしとも見えず 5 月初旬 93 圓を唱へられて居た $\frac{3}{8}$ が今日にては 143 圓と聞いては誰しも驚かすには居られまい。

型 鋼。等邊は此邊が底と見てか 8 月當所の先物申込が 1,000 噸も増加して居る。在荷としても大した數量もない様であるから此邊を一轉騰とするではあるまいかと見て居る筋もある。溝形鋼は稍見直し工形も總體に好轉の機運に向いて來たと云はれて居る。

薄鋼板。外注高に需要季節に其上品薄と反撥の好材料はありながら天候に祟られて製品の荷動きパツタリから 1, 2 錢搦みの下押しの悲境を嘔つて居る。

製鐵所販賣旬報 第 69 號 昭和 3 年 9 月 11 日

恒例先物協議會 12 月渡協議會を 9 月 11 日東京出張所に開く。外電引き續き強調丈内地市況も好況の絶頂にある折柄、集るもの全國を併せて 60 を超え空前の緊張を示す。

恒例に依り買手より提出せられたる案及本所の決定値段下の如し。(爲替 $\frac{1}{10}-\frac{27}{32}$ 鉄力のみ $\frac{1}{10}-\frac{7}{8}$)

	鋼 板					鉄力板						
	棒鋼	小中型 山形	大型 山形	工形	溝形	4.5耗	3.2耗	2.3耗	1.6耗	線材	100 封度	170 封度
沖着値段	7-15-0	7-6-0	7-4-6	6-14-0	7-2-0	8-1-6	8-7-6	8-10-0	8-13-0	7-13-6	1-0-1	1-16-6
河岸着値段	101.38	96.78	96.00	90.57	94.70	104.79	107.88	114.17	115.97	96.55	11.32	20.70
希望	101.00	97.00	96.00	90.00	95.00	104.00	108.00	114.00	116.00	96.00	11.30	20.70
本所決定値段	101	98	96	91	97	105	109	115	117	97	11.40	20.90
備 考	2圓上ゲ	1圓上ゲ	据置	同	同	1圓上ゲ	2圓上ゲ	1圓上ゲ	2圓上ゲ	置据	同	同

12 耗	5 圓	2圓上ゲ
9 耗	7 圓	同
8 耗	9 圓	同
6 耗	11 圓	同

外註値段を如何に裁定すべきか、就中棒鋼ベース、小中形、山形鋼、溝形鋼に付き問題となりしが、棒鋼に付てはベースを買方の希望通りする代りに細物のエキストラを各 2 圓宛引上ることとなり、型鋼に付ては山形を 1 圓上げ溝形を据置に妥協す。鋼板ベースに付ては買方は外註高にかゝはらず内地の不況を理由にして据置を要望すること切なるものありしが、純

理論を徹底せしめて 1 圓高と決定せり。細丸の改正エキストラ上表の如し。

8 月中の鋼材輸入統計——漸増

品名	丸	角	平	等山	不等山	溝	工	鋼板 (0.7耗超)	鋼板 (0.7耗以下)	鉄力	軌條	線材	計
横 濱	508	131	343	532	134	178	217	1,213	9,666	3,240	2,687	2,053	20,902
大 阪	473	41	260	284	274	101	63	515	5,363	195	—	660	8,229
神 戸	712	55	280	198	—	5	—	817	4,216	1,125	2,344	10,486	20,238
計	1,693	227	883	1,014	408	284	280	2,545	19,245	4,560	5,031	13,199	49,369
前 月 計	1,011	189	373	162	98	883	56	3,499	16,487	6,138	4,907	10,769	44,572

前々月 7 月は今春の關稅問題に搦ぐだ輸入減の最後の月と見え 8 月に於ては 7 月に比し二、三種を除いては全般的増加を見、總噸數に於て 7 月より約 5,000 噸の増加である。特に薄鋼板は約 4,000 噸、等山は約 1,000 噸の激増である。之に反し鉄力は約 1,000 噸の減少を見た、問題の細丸は未だ片鱗を示したに過ぎず。

黒板入札 黒板は需要期節に於て徹頭徹尾稀有の悪天候に禍されて比較的品薄なりしに拘らず遂に好轉の機もなく

開札日	第 1 薄板工場	第 2 薄板工場
9 月 10 日	188.25-187.73	188.01-187.69
前 回	183.76-188.58	189.54-188.54

経過した。此處旬日の晴天に製品の荷動きも活潑となつたと云ふもの、例年に比すれば其數量は尠なく、其上前年の整理の爲賃鉄工場が全滅して原板も市場に出る數殆んどなく全くの實需家の手に收められる爲、製

品の些少の動搖は原板迄響かず市況も至つて鈍調である。之れが當所の入札にも響いて前回に比し一般に安値であつた、10 月積落札値段上表の如し。

鉄力板——海外高内地安 永い間保合に推移した鉄力も 8 月に入ると共に他鋼材に追行して弱含みの氣配を現出し今月に入ると共に一段の下押を見せた。元來なれば追々と海苔籬等の手當の初まる季節であるし、然も海外は依然として強調を唱へ 170 封度米 4-50, 100 封度米 5-20/25 を云ふて居る故當然反撥すべき筈なるに斯る奇現象を呈したのは統制のない輸入に崇られて自己の力以上の持荷を抱へ込んだ一、二の商人が資金關係の爲め止むを得ず安値で敲く爲め市場の狭まい鉄力界の事として之が全般を鈍調に導いたと云はれて居るが其の整理も近々つくであらうし需要の勃興と共に好調に響かれるだらうと云はれて居る。

9 月上旬神戸横濱兩港細丸、線材の輸入

細 丸						線 材						
港	寸法	1/4"	5/16	3/8	1/2	5/8	計	港	寸法	No. 5	其他	計
神 戸	10	—	3	1	2	16	16	神 戸		1,950	265	2,215
横 濱	—	13	46	93	162	314	314	横 濱		2,227	561	2,788
計	10	13	49	94	164	330	330	計		4,177	826	5,003

細丸。前旬來、兎に角掲記し得る數量の輸入を見る様になつた。

線材。横濱は 8 月計 1,574 に比し今旬だけにて已に 2,788 の輸入を見たが大坂と事情を異にし大部分が實需家の手に入る爲市場には大した影響もなく市場は未だ堅實な値段を保つて居る様である。神戸は前旬の 7,267 に比し非常に減退を見た爲一時 106 圓の下押しを見たものが製品の先高人氣も手傳つて近來再び硬化し始めたと云はれて居る。

ベンゾール類新價格 當所モーターベンゾールの供給不足を報ずる事既に再三。10 月渡契約まで加へると既契約品の引渡未済高が實に 2,000 桶以上と云ふ夥しい數字を示し、根本的需給量調節の意味から次の一期間(11 月渡 12 月渡) 丈け餘儀なく先物契約を中止せればなるまいかと考へさせられるまでの逼迫振りで、想像以上に荷渡に汲々として居る。

モーターベンゾール	
70 桶以上契約の場合	175圓替
35 桶以上 "	185圓〃
35 桶未滿 "	195圓〃
100% ベンゾール	210圓〃
ソルベントナフサ	
30 桶以上契約の場合	155圓替
30 桶未滿 "	160圓〃
製鐵テレメン油	165圓〃
(備考) 以上は何れも容器付當所工場構内渡價格なり。	

假に上の臨時的處置をとつても、莫大な引渡未済品があるのだから契約者への實際引渡が中絶或は減少する様な心配は絶対になく必需筋に迷惑をかける様な事はない。寧ろ秋口からは生産歩留が良好となり生産豫定が多少増加するから、それ丈け順調に引渡す事が出来て漸次に市場在荷簿を緩和し得る傾向がある。

市價は相變らず強調を辿つて相手次第と云ふ高値を示し、季節的需要も伴つて前途一層の好轉を傳へられて居る。當所 9 月 10 月渡モーターベンゾールは先日 15 圓の値上をなし、以下夫々掲

表の如く新價格を發表した。

京都市況——睨り 海外は入電毎に高値を呼び最近にはバーバース 7-15-0 を傳へ爲替の軟調止まず河岸着 102圓内外と云ふ強調を示し市場も秋の需要期に一步を入れ好天氣に恵まれて荷動きは順調なるも、あまりの高値に先行警戒氣分も手傳つて立派な上伸振りはなく大體に於てサリ高歩調を見せて居る。

丸 鋼。細丸の品ガスレは不相變にて 3/8 は遂に 15 圓 20 錢の聲を聞くに至つたが外注品の先驅がボツボツ市場に現はれ、今月相當の入荷も豫期せられて居ることゝ此邊が峠かと思つて居るものもある。細丸の好調に

連れ大連から大阪へ移入せられた數量も相當ある模様で、東京へも少しは出廻つて來たと云はれて居る。パース物も一歩一歩堅實に上伸して目先も猶好調を唱へられて居る。

角、平鋼。角の 9^m/m は品薄の物大阪の伸鐵によつて補充せらるゝ有様故高値を持續して居る。平は地方筋の需要も追々と起つて來て先行望を繋がれて居る。

型 鋼。等山は品潤澤にて不冴、不等山は品薄の割には活氣なし。溝形は未だ需要不振の域を脱せず、之に反し工形の荷動きは相當活潑にて 6×12 5×12 など品薄の爲め相場強調である。

鋼 板。板は在荷多く未だ好轉の機運に恵まれず只本所 1.6×4×8 が品薄とは云へ舶來に比し 10 貫 5, 60 錢の高値を呼んで居るは全く當所の品質改善によるものにて愉快な次第である。

外國爲替市中相場

區分	月日	Aug.31	Sept. 1	3	4	5	6	7	8	10
日	英	1/10-7/16	"	1/10-23/32	1/10-11/16	1/10-9/16	1/10-11/16	"	"	"
日	米	45-3/8	"	45-15/16	45-7/8	45-5/8	45-7/8	"	"	"
日	佛	11.45	"	11.60	"	"	"	"	"	"

備考 日佛のみ正金建値。

東京市中相場

9月10日

丸 鋼		等邊山形鋼		工形鋼	
6 ^m /m (1/4")	15.07 (5.65)	9 × 75 × 75	9.47 (3.65)	0.36" × 5" × 10"	9.73 (3.65)
9 (5/8)	15.20 (5.70)	9 × 130 × 130	" (")	鋼 板	
12 (1/2)	12.67 (4.75)	12 × 130 × 130	" (")	1.6 ^m /m × 3' × 6'	13.07 (4.90)
3/4	10.80 (4.05)	15 × 150 × 150	9.60 (3.60)	1.6 × 4 × 8	" (")
1	10.27 (3.85)	不等邊山形鋼		3.2 × 4 × 8	11.60 (4.35)
50 (2)	10.00 (3.75)	3/8" × 2" × 3"	9.60 (3.60)	3.2 × 5 × 10	11.73 (4.40)
65 (2 1/2)	" (")	3/8 × 3 × 4	9.73 (3.65)	6.0 × 4 × 8	10.53 (3.95)
角 鋼		3/8 × 3 1/2 × 5	10.00 (3.75)	6.0 × 5 × 10	10.67 (4.00)
9 ^m /m (3/8")	12.27 (4.60)	3/8 × 4 × 6	9.60 (3.60)	9.0 × 4 × 8	" (")
12 (1/2)	9.87 (3.70)	1/2 × 4 × 6	10.40 (3.90)	9.0 × 5 × 10	" (")
15 (5/8)	9.73 (3.65)	溝形鋼		薄鋼板(13枚)	
19 (3/4)	9.60 (3.60)	1/4" × 2" × 4"	9.33 (3.50)	米	740
38 (1 1/2)	" (")	0.312 × 2 1/2 × 5	10.67 (4.00)	英	735
平 鋼		3/8 × 3 × 6	9.87 (3.70)	八幡	730
1/4" × 1 1/2"	12.00 (4.50)	3/8 × 3 × 8	10.40 (3.90)	鐵力板	
1/3 × 2	" (")	3/8 × 3 1/2 × 10	10.13 (3.80)	米 { 170 ^{11/16}	22.80
1/3 × 3	10.00 (3.75)	3/8 × 3 1/2 × 12	10.40 (3.90)	100	12.50
3/8 × 4	" (")	工形鋼		英 { 170	22.30
1/2 × 4	" (")	1/4" × 3" × 6"	9.87 (3.70)	100	11.60
等邊山形鋼		3/8 × 6 × 12	11.47 (4.30)	八幡 { 170	22.30
6 × 60 × 50	9.47 (3.55)	0.28 × 4 × 8	10.67 (4.00)	100	11.60
6 × 65 × 65	" (")	0.35 × 5 × 12	11.20 (4.20)	線 材	
				No. 5 #	106.00

備考、單位百斤につき(括弧内は十貫目)。但し薄板は一板當り。線材は一廻當り。鐵力板は一箱當り。